

# 2019年度 経営計画発表会

先日「経営計画発表会」を行い、理念・売り上げ目標・今後の方向性等を共有いたしました。

新入社員が入社したタイミングでのこの会議は、弊社では年間を通して最も重要な会議となります。

今回、理念をクレドカードに記し、配布しました。皆で同じ方向に向かって頑張れるように、いま一度気持ちをひとつにできるように。

内容は一見当たり前のことばかりですが、毎日働く中で忘れてはいけない大切なことです。まずは仲間と強固な関係をつくり、そして医院様・患者様に喜んでいただけるよう努めてまいります。



**経営理念**  
「職人魂と先端技術」を以て次世代の歯科業界を創造する

**指針**  
仲間と顧客にとって唯一無二の存在になる

**行動理念**  
「挨拶」「感謝」「謝罪」を言葉で相手に伝える  
仕事に誇りを持ち誠実に行動する  
情熱を持って挑戦し続ける



## シンガポールでセミナーに参加しました

3月24日・25日に、大信貿易様主催の実習セミナー (STM 主催) がシンガポールで開催され、代表・村田も参加させていただきました。

セミナー形式で、補綴形態やベクトンについて受講の先生方に発表させていただきました。

現地は気候も良く (というか暑く)、食事も大変美味しく最高でした!!

さて、シンガポールと言えばやっぱり「マライオン」ですが、今回見に行ってみるとなんと工事中…!! 「逆にこんな機会はない」と、自分達を慰めました (笑)。【写真右下へ】

講師の榊恭範先生と小松啓之先生並びに受講の先生方、本当にありがとうございました。



## 快挙! 青木賞をいただきました!



弊社スタッフの萩原唯が、このたび大阪セラミックトレーニングセンター全日コースを卒業し、優秀賞の1つである「青木賞」を受賞することができました! 新卒でまだ臨床経験のない彼女ですが、受賞の自信を胸に、学んだことを存分に活かしてもらいたいと思います。

萩原唯

大人気連載！！ ～新人技工士らざろクンの臨床奮闘記～

# らざろクン

第6話 「涙のカービング」

八 治 屯

新人技工士「らざろクン」が、「たった10回の試適で、上顎側切歯単冠の色を、患者がギリギリ満足してくれる位のレベルでそこそこ合わせた」という功績を認められ、各界の優れた功労者のみが招かれると言われている「園遊会」に招待されたかたということは、誰も知らない。

そんならざろクンも、多くの若手技工士と同じく、歯型彫刻（カービング）に情熱を燃やす一人である。

しかし、元来不器用ならざろクンには、カービングは非常に難しい作業であり、なかなか思うように彫刻することができない。

彫ったものを先輩に見せる度、放送禁止用語でけなされる毎日。

一方、若手彫刻家の「飯島」は自分の作品に限界を感じていた。

「誰も自分の作品をわかってくれない・・・。生きていても意味がない・・・。」

芸術家らしくガラスのように繊細な彼は、生きている意味を見失い、自分の作品とともに橋の上から身を投げ、自らの人生にピリオドを打とうとしていた。

そこに偶然通りかかったのが、らざろクンである。

らざろクンは、飯島の持っている彫刻を見るや否や、

「素晴らしい彫刻ですね！！ 彫り方を教えてください！」と詰め寄ったのである。

あっけにとられた飯島であったが、彼が「歯科技工士」であるという事、「カービング」というものに悩んでいる事なんかを聞き、ついでに、未だ全敗記録更新中の恋愛話なんかも聞いた。

カービングを見せてもらおうと、彼は「犬歯」という歯を彫っているらしいが、飯島にはどうしてもそれが「らっきょ」にしか見えなかった。

「自分以上に不幸で、誰にも相手にされていない若者が、こうして腐らず、諦めずに頑張っている。自分も、もう一度彫刻家としてやり直そう。」

飯島はそう決心したのである。

図らずも、らざろクンの行動は、未来ある若者の命を救う結果となったのである。

後に「現代彫刻の父」と呼ばれ、前衛的な作風で若者を中心に絶大な支持を得た彫刻家「飯島五郎」は、雑誌「実話ナックルズ」の記者に晩年こう語っている。

「あの時の天然パーマの青年がいなかったら今の私はなかった。あの天パの青年の優しさが私を救った。私の作品の一部は、あの天パの青年のものである。」

※当たり前ですが、登場人物・ストーリーはフィクションです



保護猫  
“ミクニ”  
3歳・メス  
元野良猫  
よくしゃべる  
(鳴く)  
磯山さやか  
体型

## 猫の里親になる話 ①

デザイナー N・31歳  
趣味は飲食、ネイル

デザイナー N こと、野元と申します。ラザロのグラフィックデザイナーとして「LAZARUS report」や梱包箱を作ったり、SNSを更新したり、基本的にその他何でも屋のようなことをいたしております。

そんな31歳独身女性一人暮らしの私が「猫の里親になる話」を、これから不定期でさせていただこうと思います。私がミクニと暮らし初めて1ヵ月。しかし私は、**まだミクニの「里親」ではないのです…！**（つづく）



## スタッフ紹介

“「フィットよかったよ」という言葉が嬉しい”

どんな業務を担当している？

ジルコニアフレーム等の適合です。前の職場含め、相当な数を経験してきたので、たくさん任せられても自分ならできる！と思い頑張っています。「フィットよかったよ」という言葉が嬉しいです。

ラザロでよかった、と思うことは？

技工所には珍しく、同世代や女性が多いことです。やっぱり相談できる人がいると働きやすさが違います。

結婚1年目のこと、これからどんな働き方をしたい？

いまは遅くとも19時に帰っています。これからは定時の18時に仕事を終わらせるように調整したり、必要になれば時短勤務に切り替えさせてもらおうと思っています。すでに先輩の前例があるので心強いですね。

これからの目標は？

もっとたくさんの種類のインプラントに対応するために、知識や技術を身につけます！







☑️ドラマ「逃げ恥」キッカケではまったアイスワイン。☑️白ワインが大好きです。友だちと飲みに行くのが日々の楽しみ。☑️先日おこなった結婚式。準備をかなり頑張りました！

